

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/04/10号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

サウジなどの減産表明で急伸

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半まで急伸する展開になった。週末の4月2日にサウジアラビアなどの石油輸出国機構（OPEC）プラス参加国が合計で日量115.7万バレルの減産を5月から年末まで実施すると発表したことを受けて、今後の需給ひっ迫リスクを織り込む動きが優勢になった。4月4日高値は81.81ドルに達し、1月27日以来の高値を更新した。ただ、世界経済の減速懸念の上値圧迫もみられ、週明け直後の買いが一巡した後は伸び悩んだ。

3日にOPECプラスは共同閣僚監視委員会（JMMC）の開催を予定していたが、その前日のしかも週末に大規模減産を表明したことにはサプライズ感があった。ロシアも既に実施済の日量50万バレルの減産を年末まで継続する方針を示している。これとは別に200万バレルの協調減産についても年末まで継続する方針が確認されている。これによって国際需給が特に年後半にひっ迫化するとの見通しが、原油相場を大きく押し上げた。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（3月31日時点）は、原油が前週比374万バレル減、ガソリンが412万バレル減、石油精製品が363万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫見通しで底固い、85ドルに向けじり高の展開へ

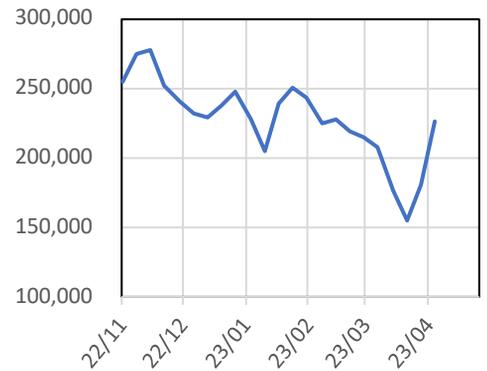
サウジアラビアなどOPECプラス参加国が強力な自主減産の実施を表明したことで、5月以降の国際原油需給のひっ迫リスクが高まっている。もともと、国際エネルギー機関（IEA）などからは7～9月期にも供給過剰から供給不足に転じるとの見通しが示されていたが、早ければ4～6月期中に若干の供給不足が発生する可能性も浮上している。減産による需給引き締めへの警戒感が維持されると、85ドルの節目突破を打診する展開になろう。

4月13日にOPEC、14日にIEAがそれぞれ最新の月報を公表する。需要見通しの修正状況に加えて、今回の大規模減産表明が国際原油需給（見通し）に与える影響について、踏み込んだ言及がみられるかが注目される。特にIEAが年後半の著しい需給ひっ迫見通しを示すと、買い安心感が強まろう。

また、米原油在庫が2週連続、ガソリン在庫が7週連続で減少していることもポジティブ。製油所メンテナンスが一巡し、製油所の原油処理量が増えている。また、行楽シーズンで末端ガソリン需要も拡大し始めている。更に在庫の取り崩しが進むと、買い安心感が強まろう。ガソリン相場は既に年初来高値を更新している。

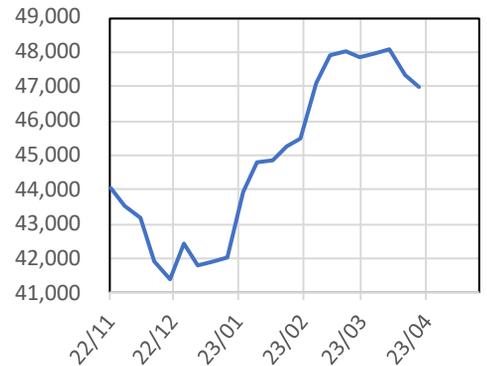
一方、世界経済の減速懸念が強くなっていることには注意が必要。米中を筆頭に各国経済指標は景気リスクの高まりを示唆している。供給不安よりも需要不安が重視される地合になると、改めて80ドルの節目を割り込むリスクがある。4月12日の3月米消費者物価指数、13日の3月中国貿易収支、14日の3月米小売売上高などがイベントリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



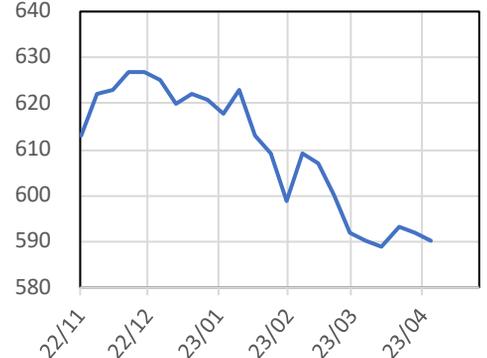
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

